

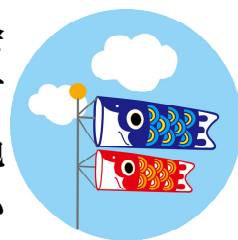
福島正美ニュースレター

発行：立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



地縁の繋がりを大切に

今皆様の地域は元気があるでしょうか。地域や自治会が重要だと感じる人や、何か地域に貢献したいと思っている人は増えています。しかし日々の生活に追われ、地域からの呼びかけに応じられないことも多いのではないのでしょうか。お世話になった地域に恩返しをしたいという団塊の世代の皆様を始め、若い子育て世代の方々が自治会や地域行事に参加し、顔と顔の繋がりが実感できる地域づくりが必要です。防災への意識の高まりとともに、これからも地域での支え合いの輪が広がるよう地道に取り組んでいきたいと思えます。



3月定例議会報告

平成24年第1回定例会が開催されました。予算特別委員会にて予算審議が行われました。平成24年度立川市一般会計予算の他40議案が可決され、旧庁舎跡地への総合的な子育て支援拠点の整備や高齢者肺炎球菌ワクチン接種への助成等が議決されました。また「孤立死及び虐待防止対策」を厚生産業委員会の特定事件とし、継続審査とすることが決定しました。

一般質問は以下の通り行いました。

1. 障がいのある人もない人も共生し、明るく暮らせる地域づくりについて
障がい者の地域への移行生活が進む中、障がい者を少しでも身近に感じて理解し受け止める心が持てるよう、市として地域やまちのイベント等で、障がい者と市民が当たり前のよう交流できる施策を推進するよう訴えました。
2. 道路空間のオープン化について
市は貴重な都市資源である駅周辺のペDESTリアンデッキやモノレール下のスペース等を最大限活用し、道路管理者として一定枠の使用を認め、路上ライブやパフォーマンス等若者の活動を支援する取り組みを進めるよう主張しました。



福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>
日々の活動を綴っております。ご意見、ご要望何でもお寄せください。

皆様の声で実現しました!!

これまで皆様から頂いたご要望やご意見から、下記のことが実現しました。

定期利用保育がスタート!

パートタイム勤務家庭の児童が保育を受けられます

保育園待機児童の内、7～8割が日中パートタイム勤務で働く家庭の児童です。そのような短時間勤務の保護者が低料金で利用できる定期利用保育事業が実施されます。これまで公約として掲げ、議会質問で訴えて参りましたが、今年度一時預かり保育の拡充と合わせ、市内9園で実施されることが決まりました。



市民防災マニュアルが作成されます

震災への不安が高まる中、非常時の初期動作、安否確認、救出救護、避難誘導等命を守るための自助、互助、公助を謳った防災マニュアルの作成を訴えて参りました。この度立川断層講演会の記録を併記した「防災ハンドブック」を作成し、市内に全戸配布することが決定しました。



子ども家庭支援センターが専門課として独立しました

従来の子ども家庭支援センターには、課長職が置かれていなかったため、児童虐待通告時等の緊急対応の遅れが指摘されてきました。児童養護施設からの要望を受け、昨年の予算特別委員会で主張しました。この度センター長（課長職）の配置により権限が強化され、現場決裁が可能となり、子どものS.O.Sへの対応が迅速化されます。



羽衣都営第一アパート2号棟に待望のエレベーターが設置されました!

自治会の皆様が都の供給公社に要望を続けて参りましたが、中々進まず長年の懸案となっていました。都議会公明党に働きかけ、都庁で要望書を直接手渡し、実現を求めました。この度工事が完成し、4月から稼働を始めました。

